

外郭団体の概要

組織名称		平成20年10月調査より要約抜粋
主要業務		(財)川越労働福祉協会
役員数		中高年齢労働者福祉センター・芳野台体育館の管理運営など。
代表者		細田照文(副市長)
職員数 合計(正規+臨時+市からの派遣)		10人
市の出資率		100%
総収入に占める市からの補助金+交付金+市からの受託業務の割合		87.2%

(財)川越市勤労者福祉サービスセンター	川越総合卸売市場(株)	(社)小江戸川越観光協会
勤労者の福祉向上に役立つ各種事業。公益事業として、講座の開催など。	市場の管理運営及び入场者等に対する指導並びに施設賃貸業務。	観光紹介、宣伝、観光客誘致促進。観光振興事業の実施、助成。観光資源開発等。
17人	18人	34人
細田照文(副市長)	粕谷圭介	岩堀弘明
12人	8人	10人
100%	68.8%	—
42.5%	0.0%	44.9%

川越都市開発(株)	川越市土地開発公社	(財)川越市施設管理公社
再開発ビルの賃貸・管理運営。公益施設の管理運営	公共施設または公用施設用の土地の取得、造成、管理及び処分。	市が設置する施設の管理運営事業。地域コミュニティ育成、文化・スポーツ振興。
11人	13人	15人
小高 勇	舟橋功一	福島忠雄
9人	4人	58人
48%	100%	100%
3.9%	97.0%	94.0%

(財)川越市青少年健全育成協会	(社福)川越市社会福祉協議会	(社)川越市シルバー人材センター
児童館へ児童厚生員の派遣。県内キャンプ場を利用した際のバス代金補助。	社会福祉法第109条に基づく社会福祉事業。	高齢者のための就業機会の提供及び就業に必要な知識・技能講習の実施。
14人	17人	17人
舟橋功一	栗原賢一	細田照文(副市長)
9人	102人	18人
100%	—	—
84.2%	58.6%	33.8%

上の表は昨年10月調査時のものですが、今回指摘したかったポイントは、外郭団体の情報は、その概要すら市のホームページからも知ることが出来ない川越市の情報公開レベルの低さです。外郭団体の改革が進んでいるとされる自治体の多くでは、その概要はもとより、経営成績や財政状況、経営改善状況なども分かり易く、市のホームページから誰でも見られるようになっています。今や多くの自治体が急ぎ取り組んでいるテーマであり、情報公開度は改革のバロメーターです。川越市には、今後も継続して徹底した情報公開を求めていくつもりです。

→ 内向きの体质では良い改革は望めない！